地域循環共生圏とは…

地域の資源を活かしながら、環境・社会・経済の課題を同時に解決していく「自律・分散型の持続可能な社会づくり」の考え方です。

［地域循環共生圏の3原則］

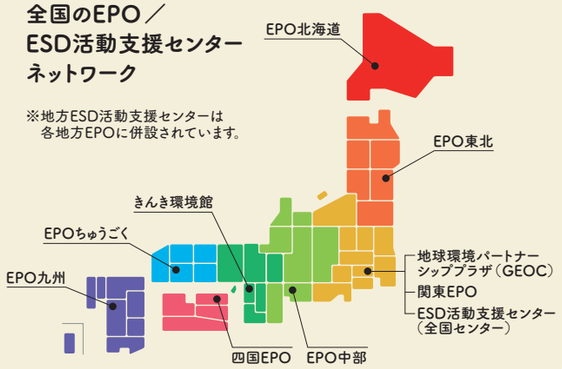
- 地域の主体性（オーナーシップ）
- 地域内外との協働（パートナーシップ）
- 環境・社会・経済課題の同時解決



担い手を育む
北海道ESDセンター

ESD活動支援センターは、環境省・文部科学省が共同で設置する、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点です。
北海道地方ESD活動支援センター（北海道ESDセンター）は2017年に開設され、学校や社会教育施設等と連携しながら、道内各地のESD活動と担い手育成を支援しています。

全国のEPO／ESD活動支援センターネットワーク



※地方ESD活動支援センターは各地方EPOに併設されています。

◉アクセス

〒060-0042　札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階
TEL 011-596-0921　FAX 011-596-0931
営業時間 10:00～18:00　休業日 土・日・祝日、年末年始
※スタッフが不在となることがあります。訪問時には事前にご連絡ください。

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）
WEB https://epohok.jp/
E-mail epoh-webadmin@epohok.jp

北海道地方ESD活動支援センター
WEB https://hokkaido.esdcenter.jp/
E-mail inf@hokkaido-esdcenter.jp

メールマガジン登録はこちら

お問い合わせはこちら

道内の環境情報ポータルサイトはこちら



環境保全や協働・学びの場づくりに関するご相談を受け付けています。講師のご紹介やスタッフ派遣も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

発行：公益財団法人北海道環境財団
※EPO北海道及び北海道ESDセンターは、環境省北海道環境局と公益財団法人北海道環境財団の協働で運営されています。

FSC www.fsc.org
ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C104445



環境パートナーシップで、
北海道の未来を創る。

環境省北海道
環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office Hokkaido

北海道地方
ESD活動支援センター
ESD Resource Center of Hokkaido

協働を支え、担い手を育み、地域循環共生圏の実現を目指しています。



協働を支える
EPO北海道

環境パートナーシップオフィス（EPO）は、環境省が全国8カ所に設置する、持続可能な地域社会づくりのための協働推進拠点です。
EPO北海道は2006年に開設され、環境を軸としながら社会・経済の課題を同時に解決するため、地域や立場を超えた協働の形成に取り組んでいます。

EPO

EPOは、協働のプロセスを3つの観点から支えます。



「見つける」

気づきを後押しする相談と情報提供

環境に関する相談対応、事例・制度・人材等の情報提供を通じて、次の一歩を踏み出すためのきっかけをつくります。

こんな「声」に応えています。

- 何から始めればよいか、相談しながら整理したい
- 脱炭素や自然再興などの道内外事例や専門家を知りたい
- 活用できる制度や支援メニュー、情報源を知りたい

MENU

▸相談対応

事例の紹介、専門人材・関係団体の紹介、アイデアの整理、資金調達や協働の進め方まで、多様な相談に対応しています。例年150件程度のご依頼に応えています。

▸情報発信

環境☆ナビ北海道やメールマガジン等を通じて、環境施策、助成金、道内外の事例等を発信しています。環境に関する最新動向を学ぶウェビナーも開催しています。





「つなげる」

多様な主体との対話と協働の場づくり

行政、市民、企業、団体、教育機関などが対話し、共通理解を深め、共に動きだすための場づくりを支援します。

こんな「声」に応えています。

- 計画づくりや事業検討に、地域の声を取り入れたい
- 行政、市民、企業、団体等が出会う場をつくりたい
- 合意形成に向けて、関係者で話し合う場をつくりたい

MENU

▸対話の場づくり

環境施策や地域課題について、市民や関係者の考えを取り入れる意見交換会等を開催しています。多様な立場の主体が集まり、視野を広げ、共通理解を深める場づくりを進めています。

▸協働の場づくり

脱炭素や自然再興などをテーマに、官民共創を促す交流・マッチングの場をつくっています。多様な主体が強みを持ち寄り、対等な役割分担のもとで課題解決に向かう協働形成を支援します。





「動きだす」

共に悩み考える オーダーメイドな伴走支援

環境を軸に地域課題の解決を目指す協働取組について、課題整理から体制づくり、実践まで伴走し、価値創造に貢献します。

こんな「声」に応えています。

- 事業の目的や成果を整理したい
- 関係者の役割分担や実施体制を考えたい
- 取組を単発で終わらせず、継続する仕組みを考えたい

MENU

▸伴走支援

持続可能な観光やエネルギーの地産地消など、多様な協働取組を対象に、課題整理、関係者との対話、実施体制づくりを支援しています。検討段階から実践まで、地域の状況に応じて伴走します。



PICK UP

道内における中間支援機能の強化を目指して

地域循環共生圏づくりを道内に広げていくため、地域で支援を担う人や組織との連携にも取り組んでいます。EPOが蓄積してきたネットワークやノウハウを共有し、道内の中間支援機能の強化を目指しています。

ESD

ESDは、持続可能な社会をつくる、協働の担い手を育みます。

「学びあう」

協働と未来をひらく学びの場づくり

気候変動や地域の環境課題を題材に、学校・地域・世代を超えて、ありたい未来を考える学びの場づくりを進めます。

こんな「声」に応えています。

- 学校や地域で、気候変動の学びの場をつくりたい
- 地域の環境課題を題材に、探究学習や教材づくりを進めたい
- 子どもたちと環境課題を学ぶ場の進め方を相談したい

MENU

▸学びの場づくり

ESDの実践を担う道内の拠点を支援しています。博物館、科学館、動物園・水族館などの社会教育施設とも連携し、施設の特徴を活かした学びの場づくりを進めています。



▸学校でのESD導入支援

「ESDアドバイザー」を派遣し、教員研修やカリキュラムづくりを支援しています。特に、高等学校の探究学習における気候変動教育の導入を重点的にサポートします。

